

## 平成 23 年 年頭の挨拶

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には佳きお歳をお迎えになられたことと存じあげます。心よりお祝詞申し上げます。

さて、わたくしたちの研究会も発足されてから二年目を迎えようとしています。昨年は、会報として“きび”考も発行され、会員相互の歴史研究への機運も高まってまいりました。これは、ひとえに事務局の山崎泰二様をはじめスタッフの皆様の賜物と深く感謝いたしております。

私達の住む岡山県（古代吉備の中心）には、先人の残した多くの文化遺産が残っております。目で見えるもの、見えないものが多くあります。先学の識者によって、それらが歴史・考古学的分野の中で、多くの成果をあげていることはいまでもありません。

私達の研究会は、郷土に埋もれている文化財のほりおこし、等々を顕彰するなかで、夫々が、地域活性化へのお役に立てればとの目的で発足されたのです。今後、更に会員相互の親睦の「和」を広げると共に会の目的達成への歩みを続けたいものです。

おわりにあたり、会員各位のご健勝、ご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

2011 年 元旦

日本先史古代研究会

会長 若狭哲六